

各 位

東京都世田谷区代沢 5 丁目 2 番 1 号
 東邦ホールディングス株式会社
 代表取締役社長 濱 田 矩 男
 (東証第一部 コード番号 8129)
 問 い 合 せ 先
 執行役員コーポレート・コミュニケーション室長
 加 藤 勝 哉
 (電話 03-5259-9520)

平成 22 年 3 月期第 2 四半期業績結果について

平成 22 年 3 月期第 2 四半期は、売上面では、共創未来グループ非連結会社向け共同仕入（東邦薬品から商品供給）が増加したことを主因に、当社独自の顧客支援システムを柱とした提案型営業への評価による伸長に加え、生活習慣病関連薬剤や新薬の伸長、新型インフルエンザの流行による関連医薬品の需要増があり、前年同期間比を 16.4%上回る実績をあげることができました。

利益面では、医薬品卸部門で利益率の低い共同仕入の増加はあったものの、調剤薬局事業の連結子会社が増えたことを主因に、売上総利益率は前年同期間比では下回るものの、前年通期を 0.2%上回る 7.6%へ改善いたしました。また、販管費の伸びを抑え販管費率を前年同期間比△0.2%の 7.0%にとどめたことにより、営業利益は金額では前年同期間比 33.3%減となりましたが、対売上比では 0.6%と前年通期比 0.2%改善でき、結果金額では修正前計画比 162.0%の超過達成となりました。経常利益も金額では前年同期間比△27.5%減少しましたが、対売上比では前年通期比 0.1%改善の 0.9%となりました。四半期純利益は前年同期間比 5,182 百万円の増加となりました。なお、四半期純利益が業績予想修正時より増加しているのは、特別損失の一部が減少したことによるものです。

利益に関して、金額面では前年同期間の実績を下回る項目もありますが、各項目とも前年通期の対売上比を上回ることができ、今期目標の達成に向け、順調な進捗となりました。なお、四半期純利益の通期業績予想に対しての進捗率は 45.7%です。

1. 平成 22 年 3 月期第 2 四半期業績（連結）

(1) 前年同期間比

単位：百万円、%

連結	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
今期第 2 四半期累計期間	4 7 6, 5 6 4	2, 9 1 6	4, 4 3 2	2, 2 8 6
前期第 2 四半期累計期間	4 0 9, 4 2 9	4, 3 7 0	6, 1 1 0	△ 2, 8 9 6
前年同期間比増減額	6 7, 1 3 5	△ 1, 4 5 4	△ 1, 6 7 8	5, 1 8 2
前年同期間比 (%)	1 1 6. 4	6 6. 7	7 2. 5	---

(2) 修正前第 2 四半期累計業績予想比

単位：百万円、%

連結	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
第 2 四半期累計期間実績	4 7 6, 5 6 4	2, 9 1 6	4, 4 3 2	2, 2 8 6
修正前第 2 四半期累計期間 業績予想	4 6 3, 0 0 0	1, 8 0 0	3, 3 0 0	1, 7 0 0
達成率 (%)	1 0 2. 9	1 6 2. 0	1 3 4. 3	1 3 4. 5

(3) 通期業績予想比

単位：百万円、％

連結	売上高	営業利益	経常利益	四半期（当期） 純利益
第2四半期累計期間実績	476,564	2,916	4,432	2,286
通期業績予想	970,000	6,000	9,100	5,000
通期業績予想比（％）	49.1	48.6	48.7	45.7

(4) 売上総利益率、販管費率、営業利益率、経常利益率の前年同期間比・通期比

単位：％

連結	売上総利益率	販管費率	営業利益率	経常利益率
今期第2四半期累計期間	7.6	7.0	0.6	0.9
前期第2四半期累計期間	8.2	7.2	1.1	1.5
前年同期間比	△0.6	△0.2	△0.5	△0.6
前年通期	7.4	7.1	0.4	0.8
前年通期比	0.2	△0.1	0.2	0.1

2. 平成22年3月期通期予想について

通期業績予想につきましては、4月の薬価改定前における製薬メーカーの仕切価対応が現時点で不透明であることもあり、前回発表予想を変更していません。

以 上